

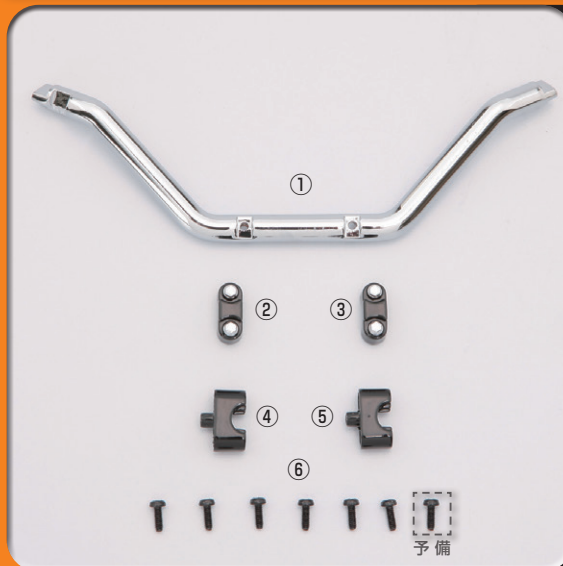
## 今号の作業

# トップブリッジに ハンドルバーを取り付ける



今号ではハンドルバーの組み立てを行い、さらに前回の作業で完成させたトップブリッジへ取り付ける。ポイントになるのは、ビスの取り付けを確実にするための「タップ切り」を事前に行っておくことだ。ハンドルバーをしっかりと固定するためにも、下準備を怠らないように。

### 今号のパーツ



- ①ハンドルバー×1
- ②ハンドルバーホルダー左上×1
- ③ハンドルバーホルダー右上×1
- ④ハンドルバーホルダー左下×1
- ⑤ハンドルバーホルダー右下×1
- ⑥ビス(Aタイプ)×7  
(※1本は予備)

※②と③、④と⑤は左右共通です。  
※②と③に前後の向き指定はありません。

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

予備

### 使用する道具

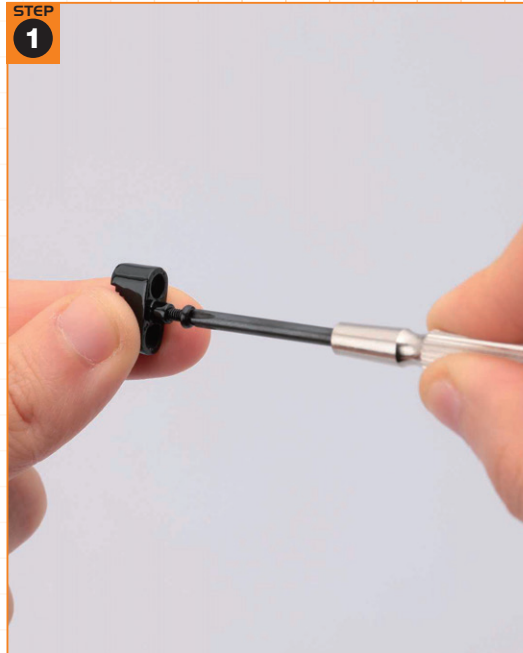
・+(プラス)ドライバー(1番)

※グリップ部が細いタイプと太いタイプの2種類があると便利。

### 用意するもの

・トップブリッジ(3号で組み立てたもの)

STEP  
1



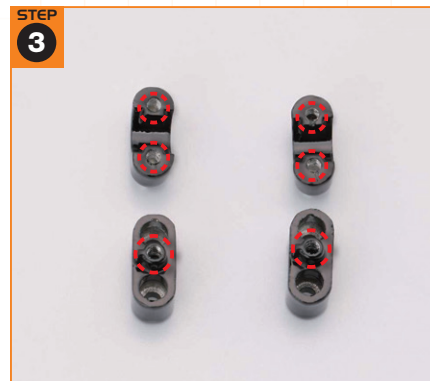
組み立て作業に入る前の準備として、②～⑤のハンドルバーホルダー部品(計4点)のビス穴に「タップ切り」を行う。Aタイプのビスを使い、各パーツのビス穴に対して垂直に差し込み、ゆっくりと締め込む。なお、この工程のことを「タップを立てる」というので覚えておこう。

STEP  
2



“タップを立てる”ときのポイントは、ビス穴に垂直にビスを入れ、できるだけゆっくりとドライバーを回すこと。また、ビスを締め込む深さは、ビスの長さの2/3程度でよく、そこまで締めたら反対に回してビスを抜き取り、ビスの表面とビス穴に付着した金属粉を取り除いておく。なお、今回のようにパーツやビス穴が小さい場合、グリップ部の細いドライバーを使用した方が力の入れすぎによるパーツ破損を防げる。

STEP  
3



今回の作業では計6本のビスを取り付けるので、6カ所のビス穴にタップを立てた。タップについては、第5号掲載予定の「各種ツールを使いこなそう」も参考にしてほしい。



①ハンドルバーの中央部分を見ると、平らに加工されている部分が両面の左右にある。片面にはへこんでいる部分があり、そこに④⑤ハンドルバーホルダー左下／右下の突起をかみ合わせる。



まずは④ハンドルバーホルダー左下から取り付け作業を始めよう。ハンドルバー中央部左側のへこんだところに、ハンドルバーホルダー左下の突起を合わせる。



ハンドルバーホルダー左下が落ちないように指先で押さえながら、ハンドルバーを挟むように②ハンドルバーホルダー左上をかぶせる。



ハンドルバーホルダー左下とハンドルバーホルダー左上をしっかりと合わせる。この時点で、多少のすき間が空いてしまっても、ビスによって締め込むので問題はない。



ハンドルバーホルダー左上と左下が落ちないように押さえながら引っくり返し、⑥ビス(Aタイプ)をハンドルバーホルダー左下の裏側にある“へこんでいる穴(中央突起の両側)”に差し込む。



もう片方の穴にもビス(Aタイプ)を差し込み、+(プラス)ドライバー(1番)を使ってねじ込む。ドライバーが回しづらくなったら反対側のビスを1回転程度締め込み、それを交互に繰り返す。こうして左右を均等に締めることで、ハンドルホルダーのすき間がピッタリと閉じる。

+(プラス)ドライバー(1番)を使って、穴に差し込んだビス(Aタイプ)を軽く締める。このときの目安は、ビスの締め込みによってハンドルバー左上が動き始めたらストップする。



次に⑥ハンドルバーホルダー右下の取り付け作業を始めよう。ハンドルバー中央部右側のへこんだところに、ハンドルホルダー右下の突起を合わせる。



## CAUTION!



⑨と⑩の工程では、軸部分の細いドライバーを使用すること。軸の太いドライバーを使うと、先端が穴の中に入らないため、ビスをしっかり締め込むことができないので注意が必要だ。



STEP 12  
ハンドルバーホルダー右下が落ちないように指先で押さえながら、ハンドルバーを挟むように③ハンドルバーホルダー右上をかぶせる。



STEP 13  
ハンドルバーホルダー右上と右下が落ちないように押さえながら引っくり返す。次に⑥ビス(Aタイプ)をハンドルバーホルダー右下の裏側にある“へこんでいる穴(中央突起の両側)”に差し込む。



STEP 14  
+(プラス)ドライバー(1番)を使って、穴に差し込んだビス(Aタイプ)を締める。手順は⑨、⑩と同じで、ドライバーが回しづらくなったら反対側のビスを1回転程度締め込み、交互に繰り返す。



STEP 15  
第3号で組み立てたトップブリッジを用意しよう。トップブリッジの上面にはへこみ(赤丸部分)があり、そこにハンドルバーホルダー左右下側にある突起が差し込まれる。



STEP 16  
ハンドルバーホルダーの突起を、トップブリッジ上面のへこみにしっかりと差し込む。このへこみと突起は正しい向きでないとう入らない。向きを間違えて取り付けることがないように配慮されている。



STEP 18  
+(プラス)ドライバー(1番)を使って、ビス(Aタイプ)を真っすぐにねじ込む。この作業は、グリップ部分の太いドライバーを使った方が作業しやすい。

ハンドルバーが落ちないように押さえながらトップブリッジを裏返す。ハンドルバーホルダーの突起を差し込んだ部分に開いているビス穴に、⑥ビス(Aタイプ)をセットする。



STEP 17  
もう片方の穴にも⑥ビス(Aタイプ)をセットし、+(プラス)ドライバー(1番)を使ってねじ込む。ハンドルバーがしっかりと固定されていればOKだ。



STEP 19

### 今号の完成



これでハンドルバーの取り付け作業は完了だ。ハンドルバーが備わったことで、トップブリッジがより一層のバイクらしさを醸し出している。今後の作業に備え、大切に保管しておこう。